

円山動物園におけるゾウの導入

たからもと ひであき
宝本 英明

民主党・市民連合



問円山動物園ではアジアゾウの「花子」が天国へ旅立って以降、ゾウが不在となり8年がたとうとしています。ゾウの再導入については、これまで導入検討調査を実施し、本年度中にその可否を判断するとのことでした。先日、ゾウの導入が発表されましたが、導入決定に至った経緯について伺います。

答本市と同じ寒冷地であり、ゾウの繁殖実績がある海外の動物園を参考に施設や飼育方法の検討を行い、原産国における国外搬出の可能性について調査をしました。その結果、ゾウたちが生き生きと暮らせる十分な飼育環境を確保し、繁殖に取り組んでいくことで、原産国の理解を得られるものと判断し、導入を決定しました。

問来園した子どもたちからは、ゾウを見たいという声が寄せられています。導入には、施設などの整備だけではなく、飼育体制や展示内容などの準備も必要ですが、改めてゾウの導入の意義を伺います。

答ゾウの導入により、多くの市民に動物の生態や生息地のことを伝え、地球環境や生物多様性に対する理解を深めてもらうという意義があります。また、施設整備や維持管理には多額の経費が見込まれますが、市民や企業の寄附を募るなど、力をお借りしながら、希少動物の命を次世代につないでいきます。

市営住宅の募集に関する諸課題

あしはら すすむ
芦原 進

公明党



問市営住宅の応募状況は、単身者向け住宅の応募倍率が世帯向け住宅の応募倍率より2倍以上高くなっています。この状況をどう認識し、今後どう対応しますか。

答一人暮らしの高齢者世帯の増加が主要因と認識しています。家族向け住宅のうち、一部の比較的小規模な住戸を単身用に割り当てているほか、建て替えなどの際に、需給バランスに配慮し供給に努めます。

問長年連続して市営住宅に応募しても当選できない方に対して、今まで以上に当選確率を高めるような方法を検討すべきであると考えますが、いかがですか。

答現行の募集では、申し込みの継続年数に応じて優遇措置を取っていますが、それでも当選できない方が多数いることは承知しています。募集する住宅の一部を別枠として、一定年数以上申し込んでいる方だけに割り当てるなど、早急に見直しを検討していきます。

市議会の動き

11月27日に招集された第4回定例会の中から、12月3日、4日の代表質問の主な内容、最終日に可決された議案などについてお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

空き家対策

むねかた まさとし
宗形 雅俊

自民党・市民会議



問年々増加している空き家の問題が、今後、大きな行政課題になると考え、課題解決に向けた協議・検討を重ねてきました。国における「空家等対策の推進に関する特別措置法」の成立を踏まえ、適正に管理されていない空き家に対し、本市はどのように対応していくのですか。

答本市でも空き家対策検討委員会を立ち上げて、検討を進めてきましたが、この法律の成立により、法的根拠を持った対応ができるようになったため、対応基準や庁内体制を早急に整備し、空き家問題の解決に向け、積極的に取り組んでいきます。

問この法律は、「空き家やその跡地の活用のために必要な対策を講ずるよう努めるものとする」という規定を盛り込み、総合的な対策をとることを市町村の努力義務としています。その対策に関して、本市はどのように考えていますか。

答空き家やその跡地を活用することは、地域の課題解決や活性化につながることから、そのための仕組みづくりは空き家対策の重要な柱になると考えています。

例えば、民間の不動産関係団体やNPOなどと連携して、空き家やその跡地を流通に乗せたり、町内会などによる地域での活用を促す仕組みを構築したりするなど、対策を検討していきます。

委員会の主な活動状況

〔12/11～1/10〕

建設委員会

札幌水道ビジョン(案)について水道局から、新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画(案)について都市局から説明を受け、質疑を行いました。(12/11)

市議会だよりを発行

平成26年第4回定例会の内容を詳しく紹介した第105号を配布しています。

配布場所

市役所ロビー、市役所2階市政刊行物コーナー、区役所、まちづくりセンターなど。



平成27年第1回定例会のお知らせ

〈本会議〉

第1回定例会は、2/12(木)から3/10(火)まで開かれ、各会派の代表質問は、2/16(月)から3日間行われる予定です。

〈予算特別委員会〉

平成27年度の本市の予算について、局ごとに審査します。
日程: 2/18(水)、2/24(火)、2/26(木)、3/2(月)、3/4(水)、3/6(金)

本会議や各委員会の審議の様子は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴席は市役所18階に、委員会会議室は16階と18階にあります。日程などについては、議会事務局議事課☎211-3166にお問い合わせいただくか、市議会ホームページをご覧ください。なお、本会議傍聴の際は、受付票への記名が必要です。

また、傍聴に来られない方も、本会議および予算・決算特別委員会については、市議会ホームページでライブ中継のほか、録画中継でもご覧になれます。

赤旗の勧誘配布など 庁舎内での政治活動

かねこ 金子 やすゆき

無所属



問 しんぶん赤旗などの政党機関紙を職員が仕事に読むことは許されますか。行政の中立性の立場から、庁舎内での勤務時間中の勧誘や配達など政治活動は禁止すべきではありませんか。

答 政党機関紙の購読は個人の契約で禁止する根拠はありません。職員は職務専念義務があり、勤務時間に読むことの是非は、職務に関連するかを職員個々人の自覚で判断すべきものです。



第4回定例会

【最終日(12月11日)に可決された議案など】

- 平成26年度一般会計補正予算
主に次の内容で総額19億9,386万円を補正するものです。
 - ①児童健全育成費の追加
 - ②公共交通対策推進費の追加
 - ③衆議院議員選挙執行費の追加
- 札幌市子ども心身医療センター条例案
- 地域の中小企業振興策を求める意見書
- 「女性が輝く社会」の実現に関する意見書

このほか、「札幌市障害者福祉施設条例の一部を改正する条例案」など合計35件の議案などが可決されました。

■編集 札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX 218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

奨学金の問題

おがた 小形 かおり 香織

日本共産党



問 返済義務のない給付型の奨学金制度創設を国に対し求めるべきですが、どのように働きかけていくのですか。

答 本市では昭和26年度から給付型奨学金制度を導入しており、多数の大学生が利用しています。大学生向け給付型奨学金の早期創設を指定都市教育委員・教育長協議会などを通じて、国に要望していきます。

問 本市の奨学金利用枠や金額を拡大するため、一般市民にも広く呼びかけて寄附を募るべきではありませんか。

答 ポスターやリーフレットなどを作成し、一般市民などへ寄附の呼びかけを行っています。平成26年度は、11月末現在で1億円を超える寄附をいただいておりますが、今後も、市民への周知など給付型奨学金制度への理解が深まるための取り組みを強化していきます。

平和政策

いとう まきこ 伊藤 牧子

市民ネットワーク北海道



問 平和都市宣言を行っている本市として、世界に向け平和を発信するなど平和行政の強化や、核廃絶に向けた取り組みの強化をすべきではありませんか。

答 平和首長会議に加盟し、他都市と一丸となり世界に平和の大切さを発信し、核兵器禁止条約の早期実現に向けた取り組みの推進を国に要請するなど、国際平和を目指していきます。

問 子どもや若者など多くの市民が戦争の悲惨さや平和の尊さを心に刻み、語り継いでいくよう、平和の取り組みを拡充すべきではないですか。

答 小中学生からの平和へのメッセージ募集、市民100人から聞き取った戦争体験談をまとめた書籍の発行など、若い世代をはじめ多くの市民がさまざまな形で参加できる事業を実施しており、今後も事業の充実を図っていきます。